

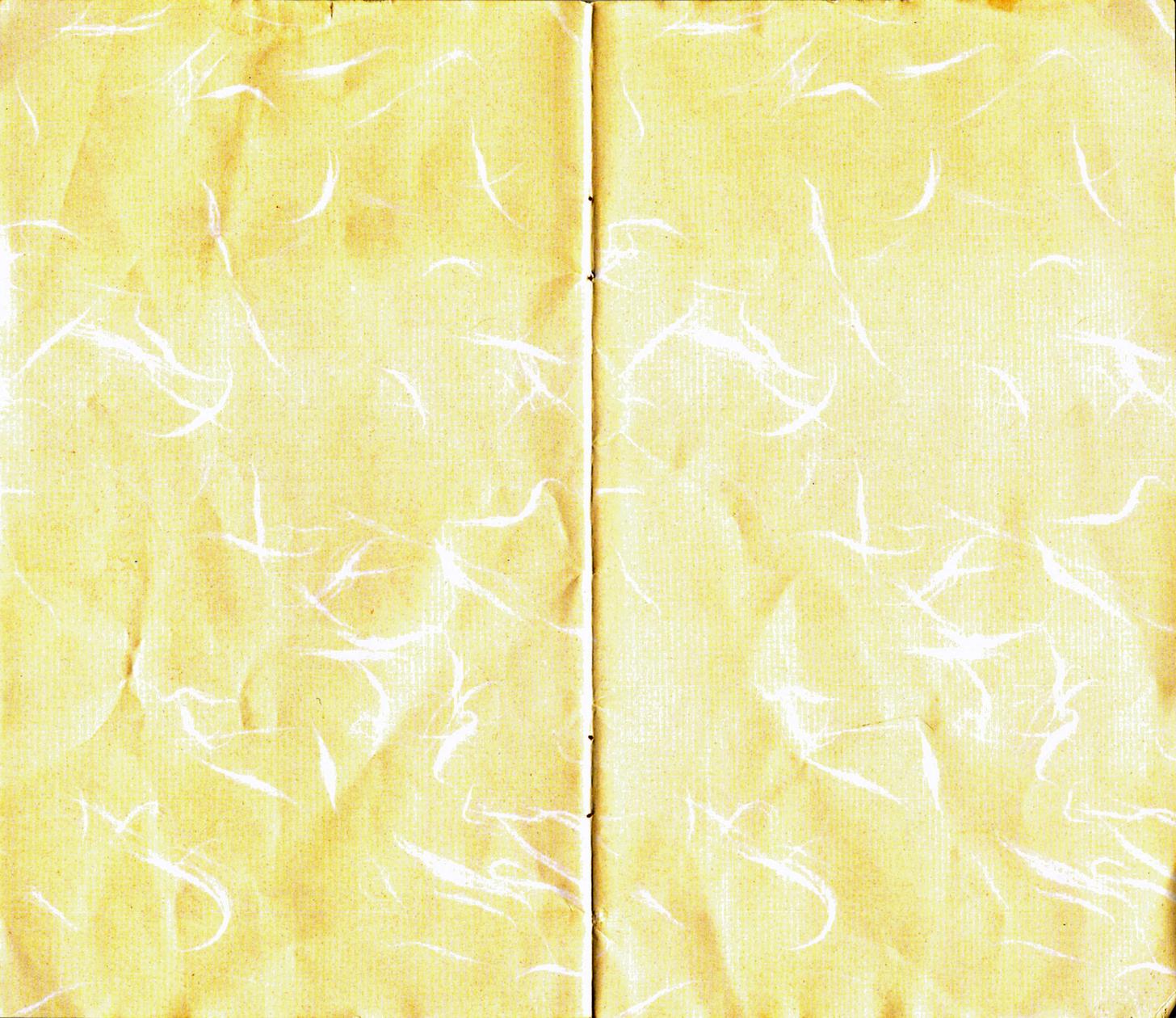
ぷよ道

—ぷよぷよ攻略への道—



極

株式会社 **コンパイル**





ぶよ道

—ぶよぶよ攻略への道—

1993年3月8日 初版発行

著者 ■ 森田ぶよみち

編者 ■ コンパイルぶよぶよ布教協会

装丁 ■ 姫月あやめ

上人一速

レインボーPaPa

発行人 ■ MOO 仁井谷

発行所 ■ 株式会社コンパイル

〒732 広島市南区大須賀町17-5

シャンボール広交210号

電話 ■ 082-263-6165

(許可なしに転載、複製することを禁じます)

©1993 COMP I L E

前口上

『ぶよ道』

ぶよみち、ではない。ぶよドーと読む。

もしも『ぶよ道』というものがあつたならば、僕は間違いなくこの道の大家になっていただろう。

おおやではない。たいかと読む。

それはさておき。

現在ちまたでは、ぶよに群がるカップルの野太い嬌声が、そこそこにあふれかえっている。そんな弱っちい男たちに送るのが、この『ぶよの門』である。

少々うさんくさいところがないこともないが、以下の文章は、長年つちかかってきた経験と技術を、本人はわかりやすくまとめたつもりのものである。この文章の中に隠れている役に立つ情報を取捨選択しうるもののみが、一度失われた男のメンチカツを取り戻せるのである。

ちなみに女性の場合、その弱っちい男に、ここから得た情報を使って手ほどこしてあげれば、女の株もはねあがるというものである。

ぶよぶよが老若男女のための一本とすれば、これは、男女の仲をとりもつための一冊である。

基本公式のようなモノ

まず、連鎖形態には2種類あることを説明しておく。それらは一般に『雄型』、『雌型』とよばれる。

雄型とは、最初から連鎖の形態を頭のなかで決めておいて、そこへ必要とされる色のぶよを、ジグソーパズルのピースのように当てはめてゆくやりかたである。ビギナーのころは、この雄型のお世話になるだろう。

雌型は一言では説明しづらいが、数珠つなぎのように連鎖をどんどん増やしてゆくやりかただと思ってほしい。

ではそれぞれの説明にうつるとしよう。

●雄型連鎖

なにもないフィールドに、4連鎖を組むとしよう。右の図のAタイプやBタイプやCタイプがそれだ。

しかしCタイプのような複雑怪奇なのが咄差に浮かぶような奴あビギナーとは呼ばん。で、設計図通りに任意の色を置いてゆき、最後にAぶよに相当する色を消せば、雄型4連鎖が完成する。

この連鎖のいいところは、基本型が存在するので（とくにタイプA、B）必勝パターンになりえることだ。

しかし、ぴたりとハマるピースが都合よくは来ないので連鎖を組むのに慣れを要する、また、Aぶよの部分をおじゃまぶよで塞がれたり、自分のぶよを誤って置くと、せっかく築いたものがおじゃんになる、などの欠点もある。

もうあとがきになってしまった。

や、もうあとがきになってしまった。

ということは『折り返し』のテクニックは、残念なことには謎につつまれたままで終わってしまうことになる。それでも知りたいと思う人は、僕のところまではがきでもなんでも送ってきてくれれば、なんらかのかたちで紹介する場を設けることにしよう。

ところで、この攻略本を読み終えたとき、表紙からこのページにいたるまでに、2か月とちよっとぐらいが経過したような気がしないかい？すくなくとも僕はしているぞ（笑）。

その間に、雌型連鎖と雄型連鎖の立場は逆転し、アメリカ大統領も交代した。この原稿を書き始めたとき、ぶよの攻略は極め尽くしたと思ったものだが、次から次へと有効な攻撃法が見つかっていくさまは、まさに埋蔵金のそのまた下に埋蔵金が眠っているがごときものである。

少なくとも君が思っているよりも、ぶよは奥が深いはずだ。ここに書いてある攻略法を越える攻略を、君が見つけることを期待しながら、僕はこの場から退場しよう。

森田ぶよみち (22)

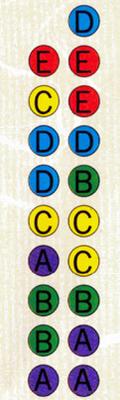
④赤光潰斬波雷精地獄しやくこうくわいざんぱらいせい (ドラマチック雌型)

理想は2列で5連鎖を組みたいところだが、そうなると10段目まで積むことになるので、実用的とはいえない。

そこで、3列8段で5連鎖を組むのがこの『赤光潰斬波雷精地獄』だ。こいつは少々のおじゃまぶよにも耐えてくれるので、今現在、最高にビューティホーな連鎖形態といっても過言ではない。

④赤光潰斬波雷精地獄

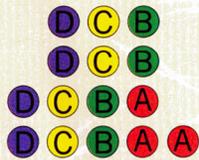
■理想



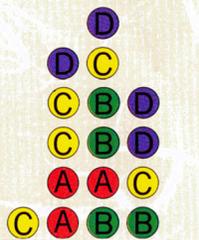
あるビギナーの脳画像



思いついた瞬間タイプA



思いついた瞬間タイプB



思いついた瞬間タイプC

●^{めすかた}雌型連鎖

雄型と決定的にちがうのは、連鎖の形を想定しない点である。良くいえば臨機応変、悪くいえば、例の、いきあたりなったらだ。

では、図を見てもらいたい。

まずAぶよとBぶよでリーチを作る。このAぶよを仕掛けぶよ、Bぶよを点火ぶよと定義する。Bに点火（消すこと）すれば次にAが消え、2連鎖がおこる。

さて、ここでCぶよが登場する。

今度はBぶよとCぶよだけで再びリーチを作る。

すると、今まで仕掛けぶよだったAぶよは予備の仕掛けぶよになる。つまり、BとCでリーチを作るときには、Aぶよのことは考えなくてもいいわけだ。変わってBぶよが仕掛けぶよになり、Cぶよが点火ぶよに変わるのである。この時点でCぶよに点火すれば3連鎖がおこる。

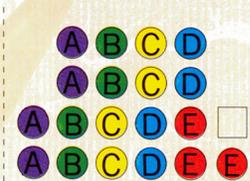
次にDぶよが登場する。

同じ要領でCぶよとDぶよでリーチを作れば、BぶよはAぶよ同様予備ぶよになり、Cぶよが仕掛けぶよに変身し、Dぶよが点火ぶよになる。ここでDぶよに点火すれば4連鎖が成立する。

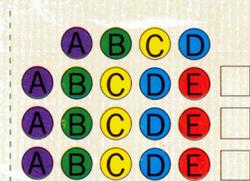
このような過程を繰り返せば、5連鎖6連鎖と伸ばすことが可能となる。これが雌型連鎖の特徴であり、最大の利点である。

欠点らしい欠点は特にないが、習得するのに時間がかかることと、組むのにムダぶよが多くなることが欠点と言えるだろう。

①雷撃地獄



②爆雷地獄



注：□は点火領域

③轟雷鳴動地獄



■特別図解



5連鎖

連鎖が4回起こること。決して5回ではないので注意せよ。試験にでるぞ。

で、攻撃力は2撃(60個)以上。つまり、5連鎖が起これば、どちらかの死をもって、その対戦は終わる。

まさにドラマチック連鎖だ。

①雷撃地獄(ドラマチック雄型)

『火炎地獄』『氷刃地獄』『増殖地獄』の最上位がこれ。

あんな貧相だった『火炎地獄』も、最強の攻撃力を持つ、ドラマチック連鎖にまで成長した。しかし、ただでさえ時間のかかる5連鎖に加えて、点火領域が2ぶよ分しかないのは、相手にそこを埋めてくださいと言っているようなもの。

最初のうちはこれに頼るのは仕方ないとしても、早いうちに別の5連鎖をマスターすることをお勧めする。

②爆雷地獄(ドラマチック雄型)

『雷撃地獄』の亜流に過ぎないが、ドラマチック連鎖にまで成長してくると、ささいな差異が大きな違いを見せる。

すなわち、こちらは点火領域が3ぶよ分あるのに対して『雷撃地獄』は2ぶよ分、厳密に言えば1ぶよ分しかない。

『雷撃地獄』に比べれば、かなり利用価値が高いはずである。これは4連鎖のときにも言える。

③轟雷鳴動地獄(ドラマチック雌型)

L字型に雌型連鎖を伸ばした結果がこの形。もちろん細部は落ちてくるぶよ次第でどんどん変えていい。

とくに、図のEぶよの部分でDの部分にかえて、逆方向へ連鎖をのぼしてもいい。

なに?言ってることがわかんねーって?

めんどくせー!特別図解をみやがれいっ!

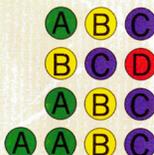
あるデザイナーの脳内画像



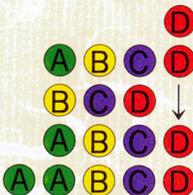
リーチとは
Bをぬけば連鎖が
起こる状態をいう



今度はCをぬけば
Bが消える



今度はCとDで



これで4連鎖

予備知識のようなモノ

それでは、さまざまな連鎖を紹介する前に、連鎖を習得するにあたって必要な知識・用語を逐一解説しておく。

●ブロック・段・列

6×12のフィールド内で、ぷよ1個分の大きさを持つのがブロック。

ブロックが水平にある状態を1段。

ブロックが垂直にある状態を1列と呼ぶ。

横が段で、縦が列ってことだ。

●ゴミぷよ・ゴミ箱列

連鎖を組む上で必要でない色のぷよ、またそのぷよを連鎖の邪魔にならないように捨てておく例のことを、それぞれこう呼ぶ。

●同時消し

2色以上のぷよぷよを一度に消すことである。得点は、2色を別々に消すより高い。

しかし、これをするぐらいなら2連鎖を組んだほうが攻撃力は大きいので、決して多用するテクニックではない。

●折り返し

ここでは説明しづらい技。

後述。

●フィーリング連鎖

ぷよぷよを適当に積み上げて、連鎖を起こすとゆうテクニック。連鎖の組み方を理解していないビギナーでも、これをやれば3、4連鎖がしばしば起こる。実用的であなどれない技である。

そんなときは、おじゃまぷよを利用してみたり、列を変えて組み直してみたり、3連鎖目から違うパターンにしてみたりと創意工夫が必要である。

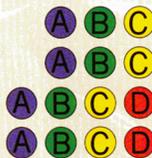
④輪廻崩壊蘇生地獄りんねほうかいそせい（雄型）

さて、この『輪廻崩壊蘇生地獄』は雌型連鎖を覚えるための「かきかたちょう」といえる。『再生ムキムキ天国』がよく理解できなければ、まずこちらを試してからにすればいい。

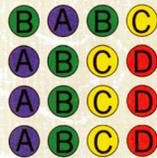
使用方法は、左のAぷよから積むだけ。これを繰り返して服用すれば、あつというまに雌型ジャンキーである。

実際、慣れてしまえば『増殖地獄』よりも組み易く、また邪魔もされにくい。上級者がよく使う4連鎖の形だ。

①増殖地獄



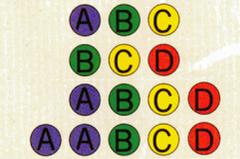
②倍力地獄



③再生ムキムキ地獄



④輪廻崩壊蘇生地獄



4連鎖

説明するのはくだらないが、3連鎖の後、もう一度、以下略。攻撃力は、かなり大きく、1回の最大攻撃量である1撃（5段=30個）は確実に降らせられる。

①増殖地獄（雄型）

やっぱりとお思いでしょうが、初めにくるのは『火災地獄』の発展型4連鎖。

もう解説はしないが、さすがにここまで来ると組みにくくなっていく。特に対人間戦（ふたりでぶよぶよのこと）になると、おいそれとは組み上げさせてくれない。それでもこいつをやってみたいと思う人は、まず3連鎖である程度のダメージを与えた後にするのがイカすやりかただ。ひいては、必勝パターンになりうる攻撃方法である。

②倍力地獄（雄型）

さすがに『爆炎地獄』の発展型はやらん。代わってここに紹介するのは、2色待ち4連鎖である。

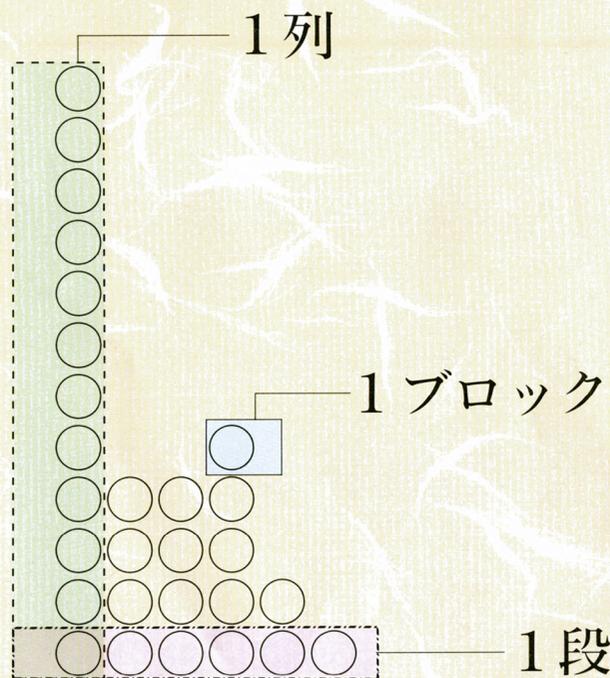
4連鎖ぐらいになると時間がかかる上に、相手からのおじゃまぶよが、ひっきりなしに降ってくる。それ自体も確かに痛いのが、なによりも点火ぶよ領域がおじゃまぶよで塞がれると、精神的ダメージがとてつもなくでかくなる。それを防ぐための策がこいつである。ただし、なんであるにせよ弱点らしきものはあるもので、見た目よりは組みにくいのと、真ん中にD色ぶよを置くくらいなら、そいつできっさきと点火してしまえば4連鎖は発動されるのである。うかつ者用の技だ。

③再生ムキムキ天国（雌型）

『氷雪バラバラ天国』の上位にあたるのがこれである。

御覧の通り、2列8段で4連鎖が組める、スマートな上級者用連鎖スタイルだ。

しかしやはり、4連鎖は時間を食うシロモノなので組んでいる途中に必ずおじゃまぶよが降ってくる。



2連鎖

ぶよを1回消し、次のぶよが降ってくる前に再びぶよが4匹以上消えることをいう。

そこに同時消しがいくつ重なっても、2連鎖としか呼ばない。攻撃力はおじゃまぶよを1段（6個）降らせる程度である。

①火炎地獄（雄型）

基本中の基本形。しかし、これができるようになるのって意外と難しいようだ。

②爆炎地獄（雄型）

これも基本中の基本。『火炎地獄』よりは、多くのおじゃまぶよを降らせることができる。気休め程度だけだね。

③炎熱地獄（雄型）

『爆炎地獄』を横型にかえた感じ。しかし実戦で使ったことはない。基本外連鎖だ。

④情熱地獄（雄型）

『爆炎地獄』と『炎熱地獄』を掛け合わせると、こんなカンジになる。うーむ、無理やりアイデアを捻出している気がする。

超基本外連鎖だな。

⑤炎柱地獄（雄型）

こいつは実践向きである。おじゃまぶよが大量に降っても、Bぶよに点火すればおじゃまぶよは一掃される。例えるなら生命保険のようなものだ。

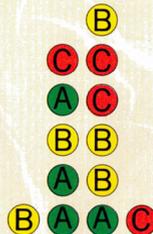
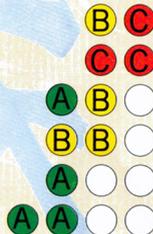
⑥火炎焼殺し地獄（準雌型）

おじゃまぶよも活用次第というよい見本。おじゃまぶよを生かすことができれば、実力がついてきたと思ってい。

⑤雷雪パラパラ天国 ⑥氷雪パリパリ天国



⑦天国から粉雪地獄 ⑧水凍絶対零度地獄



⑤ 雹雪バラバラ天国 (雌型)

雌型連鎖への登竜門となる組み方。

縦2列で3連鎖を組むところが最大のポイントである。

2列しか使用しないので、前半だけでなく、地面が凹凸状になる中盤から後半にかけても使えるという便利さのため、上級者や奥様方にとっても重宝されている。

⑥ 氷雪バリバリ天国 (雌型)

『雹雪バラバラ天国』の相似形だが、むしろこっちの方が規則正しい雌型連鎖の形を成している。

『雹雪バラバラ天国』との違いは、『雹雪バラバラ天国』が3連鎖を組み終えた時点で攻撃する態勢をとってるのに対し、こちらはもっと連鎖を増やせるところにある。

まさに上級者のための必修一本技だ。

⑦ 天国から粉雪地獄 (雌型)

厳密には、雌型と雄型の異種交配ってところに位置する。見て分かる通り、階段状にのばしていく。

おじゃまぶよを降らされても大丈夫なように開発された技で、少々攻撃なら引き続き連鎖を組むことができる。

⑧ 氷凍絶対零度地獄 (雄型)

A、B、C。どの色を消しても3連鎖が起こるハイパーに実用的な作品だ。

著作権料をとってもバチが当たらないぐらいよくできている。自画自賛というやつだな。

① 火炎地獄



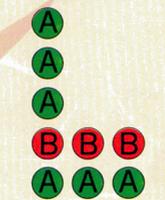
② 爆炎地獄



③ 炎熱地獄



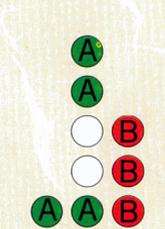
④ 情熱地獄



⑤ 炎柱地獄



⑥ 火炎焼殺し地獄



注：○はおじゃまぶよ

3連鎖

説明するのにもバカバカしいが、2連鎖の後に、もう一度4匹以上消えると3連鎖となる。攻撃力は、ぐっと威力が増し3段（18個）以上のおじゃまぶよが降る。

①氷刃地獄（雄型）

2連鎖の基本形である『火炎地獄』の発展型がこれである。詰まるところ、3連鎖のスタンダードスタイルに収まる。

この連鎖はゲーム開始直後に使うのがよろしい、というより、ゲーム中盤ではフィールドが凹凸状になり、図の通りに組むのは難儀であろう。

②霧氷地獄（雄型）

2連鎖の『爆炎地獄』の発展型にあたるのが、これ。2連鎖では、若干攻撃力が増す程度だったが、こいつは『氷刃地獄』と比べると6～8個以上、総数4段以上ものおじゃまぶよが降る。ただ、こんなにうまく組めることは希なので、3連鎖目にあたるAぶよだけは、必ず6個消えるようにいたせ。

③氷点下地獄（雄型）

『氷刃地獄』と『霧氷地獄』を縦型3連鎖とみなすならば、この『氷点下地獄』は横型3連鎖と呼べるであろう。

しかし右図の通り、見た目がギャラリーに受ける以外『炎熱地獄』以上に使用価値のない技である。

④極太氷柱一本釣り地獄（雄型）

『氷点下地獄』に輪をかけて使えないのがこれ。できりゃあおもしろい一品だが、使用頻度となると下の下の下だ。

キングオブ使えない技。

①氷刃地獄



②霧氷地獄



③氷点下地獄



④極太氷柱

一本釣り地獄

